

チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

- ・やさしい子
- ・考える子
- ・元気な子
- ・やりぬく子

かせに
注意だワン!



発行者：校長 岡田 達也



～ えがお かがやき がんばる 学校 おうえんだん「チーム北川」～

『家庭学習』の大切さについて!

すべての子どもたちが基礎学力を身に付け、それらを活用し、進んで考える力を育てていくためには、意欲的に学び続ける「主体的な学習者」を育てることが重要だと言われています。そのために欠かせないことが、授業の充実と家庭学習の充実です。

このことから、岡山県教育委員会では、『家庭学習のスタンダード』を作成し、学校と家庭が協力しながら家庭学習の充実に取り組むことができるよう、その周知徹底を図っているところです。本校においても、低・中・高学年用「家庭学習の手引」を作成し、子どもの発達段階に応じて授業と家庭学習のつながりを意識して取り組んでいます。家庭学習の大切さについて改めてご理解いただきたいと思い、「家庭学習」について紹介します。



☆☆ 「家庭学習」は、「宿題+自主学習」と共通理解しよう! ☆☆

家庭学習は「宿題」が基本であり、知識理解の定着には復習が重要です。それに加えて自分の苦手な教科の内容(予習・復習)、興味・関心のある内容について調べる「自主学習」も家庭学習です。つまり、基礎学力の定着を図るとともに、自分に必要な学習を考え取り組むことは、自ら学ぶ力の育成にはたいへん重要です。

☆☆ まずは宿題、次に自主学習。その習慣を身に付けさせよう! ☆☆

- ① 毎日時間を決めて取り組む習慣を身に付ける＝「家庭学習のルール」をつくる
 - ・何時に始めるか
 - ・どこで学習するか
 - ・何分取り組むか＝学年×10分以上
- ② 宿題(授業の復習中心＝繰り返し学習)が終わって時間があれば自主学習に取り組む
 - ・自主学習＝復習や予習、興味・関心のある調べ学習など
- ③ 取り組みやすい環境をつくる
 - ・「集中」して「ていねい」に取り組ませる(「〇〇をしながら」は×)

家庭学習の習慣は、継続的に取り組むことで身に付きます。そのためには、学校全体で組織的に取り組むとともに、子どものやる気を支える「点検・評価」が必要です。今後、この点も工夫していきたいと思えます。学校と家庭が協力しながら、子どもたちのがんばりを認め、ほめることは、子どもたち大きな「励み」となり、継続する力を支え、家庭学習の習慣化につながります。「励」という漢字は、「一」「万」「ノ」「力」(いちまんのうちから)と書きます。とても大切なことですね。

6年「発見!北川!! 北川の歴史を訪ねて」



6年生は、3学期の総合的な学習の時間に「発見!北川!! 北川の歴史を訪ねて」というテーマのもとに学習することになっています。その1日目として、19日(火)の3・4校時に「北川の昔を訪ねる会」のみなさんをお招きして、ふるさと北川の歴史についてお話を伺いました。

北川の昔を訪ねる会と北川まちづくり協議会が作成された冊子『北川史跡ガイドブック』、地図、写真等をもとに、とてもわかりやすく説明していただき、子どもたちも真剣に聞き入っていました。北川地区のすばらしいところは、多くの史跡はもちろんのこと、子どもたちに伝えてくださる方々の存在だと思えます。子どもたちは、「ふるさと」を深く知ることで、ふるさとへの思いも深まっていきます。